# 松本市の景気動向

# 一 中小企業景気動向基本調査 一

# 【平成26年11月】

■調 査 概 要 (データ対象期間:平成26年11月1日~11月30日)

○調査期間:平成26年12月1日~12月22日

○調査対象:市内中小企業200企業に対して郵送によるアンケート調査

○回収状況:建設業15企業、製造業18企業、卸売業16企業、小売業24企業

飲食業10企業、サービス40企業(運輸、不動産仲介業を含む)

<合計123企業>

○調査項目: 1 1月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヶ月の業況見通し(DI値を集計)

(注) D I (Diffusion Index) 値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市 • 松本商工会議所

# 概況

#### 業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

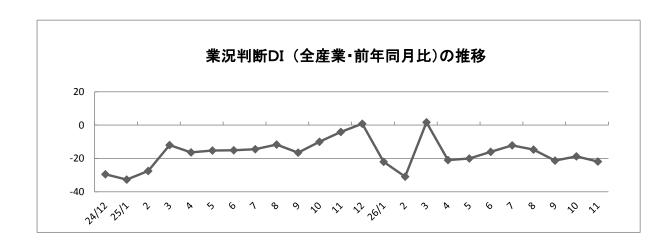
## 1. 業況判断

- 〇全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月( $\triangle$ 18.8)よりマイナス幅が 3.1 ポイント拡大し、 $\triangle$ 21.9 となった。業種別では、建設業はマイナスから 0 となった。サービス業、製造業はマイナス幅が縮小し、小売業、飲食業、卸売業はマイナス幅が拡大した。
- 〇全産業合計の水準DIは、前月( $\triangle 26.5$ )よりマイナス幅が 5.2 ポイント拡大し $\triangle 31.7$  となった。業種別では、建設業は変化がなかった。小売業、製造業はマイナス幅が縮小し、サービス業、飲食業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

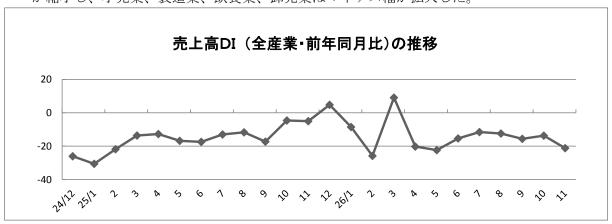
			<u> </u>					
		業況[前	<b>「年同月</b> 」	と]		今月	の水準	
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	10.6	56.9	32.5	_ ▲ 21.9	6.5	55.3	38.2	_ ▲ 31.7
	(13.7)	(53.8)	(32.5)	<sup>△</sup> (▲ 18.8)	(9.4)	(54.7)	(35.9)	<sup>△</sup> (▲ 26.5)
建設業	13.3	73.4	13.3	0.0	13.3	66.7	20.0	▲ 6.7
廷议未	(13.3)	(60.0)	(26.7)	<b>7</b> ( <b>▲</b> 13.4)	(13.3)	(66.7)	(20.0)	(▲ 6.7)
製造業	16.7	44.4	38.9	▲ 22.2	0.0	61.1	38.9	<b>⊿</b> 38.9
表坦未	(5.9)	(58.8)	(35.3)	<b>1</b> ( <b>▲</b> 29.4)	(0.0)	(52.9)	(47.1)	(▲ 47.1)
卸売業	0.0	37.5	62.5	▲ 62.5	0.0	37.5	62.5	△ 62.5
即近未	(18.8)	(37.4)	(43.8)	<sup>△</sup> ( <b>▲</b> 25.0)	(12.5)	(43.7)	(43.8)	(▲ 31.3)
小売業	8.3	54.2	37.5	▲ 29.2	4.2	58.3	37.5	<b>⊿</b> ▲ 33.3
עיני.	(11.5)	(53.9)	(34.6)	<sup>△</sup> ( <b>▲</b> 23.1)	(7.7)	(50.0)	(42.3)	(▲ 34.6)
飲食業	10.0	50.0	40.0	√ ▲ 30.0	20.0	20.0	60.0	√ 40.0
以及木	(10.0)	(60.0)	(30.0)	(▲ 20.0)	(10.0)	(70.0)	(20.0)	<b>△</b> ( <b>▲</b> 10.0)
サービス業	12.5	67.5	20.0	<b>▲</b> 7.5	7.5	62.5	30.0	_ ▲ 22.5
リーレク来	(18.2)	(54.5)	(27.3)	<b>1</b> ( <b>▲</b> 9.1)	(12.1)	(54.6)	(33.3)	(▲ 21.2)

※「業種[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



## 2. 売上高D I (前年同月比)

○全産業合計の売上高DIは、前月(▲13.7)よりマイナス幅が7.5ポイント拡大し▲21.2となった。業種別に見ると、サービス業がプラスからマイナスへ転じた。建設業はマイナス幅が縮小し、小売業、製造業、飲食業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

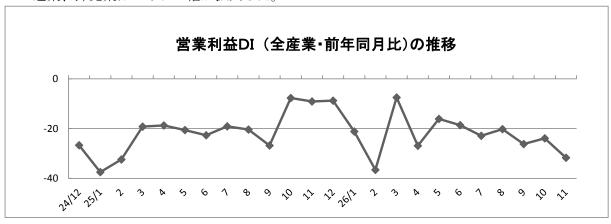


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

		25年11月	12月	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
全(	体	▲ 5.0	4.8	▲ 8.5	▲ 25.8	9.1	▲ 20.2	▲ 22.4	▲ 15.4	<b>1</b> 1.5	▲ 12.4	▲ 15.6	<b>1</b> 3.7	▲ 21.2	N
建設	業	18.7	35.3	▲ 20.0	17.7	33.3	14.3	▲ 23.5	0.0	12.5	5.9	<b>1</b> 4.3	▲ 13.4	<b>▲</b> 6.7	1
製 造	業	<b>▲</b> 9.6	<b>1</b> 3.1	12.5	▲ 35.0	0.0	<b>4</b> 5.5	▲ 50.0	▲ 30.0	<b>1</b> 9.0	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	N
卸 売	業	6.2	31.2	20.0	▲ 20.0	50.0	▲ 23.5	▲ 25.0	5.9	<b>▲</b> 12.5	▲ 5.9	0.0	<b>▲</b> 12.5	<b>4</b> 3.8	N
小 売	業	<b>▲</b> 9.5	8.7	<b>▲</b> 4.8	▲ 23.8	26.1	<b>4</b> 0.9	▲ 38.1	<b>1</b> 24.0	▲ 29.2	▲ 7.7	▲ 37.0	<b>1</b> 27.0	▲ 29.2	7
飲食	業	▲ 18.2	<b>1</b> 8.2	<b>4</b> 4.5	<b>▲</b> 91.7	<b>4</b> 5.4	10.0	0.0	▲ 50.0	▲ 10.0	<b>4</b> 4.4	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	N
サービス	業	▲ 11.1	▲ 5.7	▲ 23.5	▲ 22.8	▲ 8.3	<b>1</b> 1.7	<b>▲</b> 2.5	<b>▲</b> 5.7	▲ 5.8	▲ 10.2	0.0	3.1	▲ 5.0	N

# 3. 営業利益D I (前年同月比)

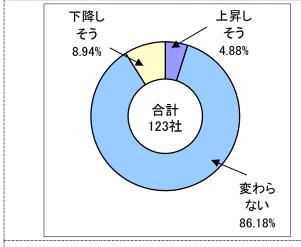
〇全産業合計の売上高D I は、前月( $\triangle 23.9$ )よりマイナス幅が 7.8 ポイント拡大し $\triangle 31.7$  となった。業種別に見ると、建設業はマイナス幅が縮小し、小売業、サービス業、飲食業、製造業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

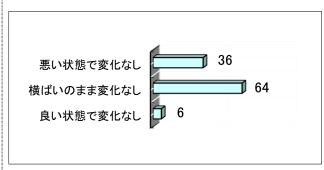


【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

			25年11月	12月	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	]
全	<u> </u>	体	<b>▲</b> 9.1	▲ 8.8	▲ 21.2	▲ 36.6	<b>▲</b> 7.5	▲ 26.9	<b>▲</b> 16.1	▲ 18.6	▲ 22.9	▲ 20.2	▲ 26.2	▲ 23.9	▲ 31.7	Z
建	設	業	<b>▲</b> 6.3	▲ 5.9	▲ 53.3	▲ 23.5	<b>▲</b> 6.7	▲ 21.4	▲ 5.9	▲ 13.4	<b>1</b> 2.5	<b>▲</b> 17.6	<b>4</b> 2.9	▲ 33.3	▲ 13.4	1
製	造	業	▲ 19.1	<b>1</b> 3.0	▲ 8.3	▲ 20.0	▲ 10.0	<b>4</b> 0.9	<b>4</b> 1.6	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	7
卸	一売	業	0.0	12.5	20.0	<b>4</b> 0.0	18.8	▲ 23.6	▲ 31.3	<b>▲</b> 11.7	<b>▲</b> 18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	7
		業	<b>▲</b> 4.8	▲ 8.7	▲ 23.9	▲ 28.6	4.4	<b>4</b> 0.9	<b>1</b> 9.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.4	<b>4</b> 0.7	▲ 27.0	▲ 29.2	7
飲	食	業	▲ 18.2	<b>1</b> 27.3	<b>4</b> 4.5	▲ 100.0	<b>▲</b> 54.5	0.0	<b>1</b> 6.6	▲ 50.0	▲ 20.0	<b>4</b> 4.4	▲ 60.0	▲ 30.0	<b>4</b> 0.0	7
サ	ービ	ス業	▲ 8.3	▲ 11.4	▲ 26.5	▲ 34.4	<b>1</b> 1.1	▲ 20.6	2.5	▲ 5.7	<b>17.1</b>	<b>1</b> 7.9	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	N

#### ◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇

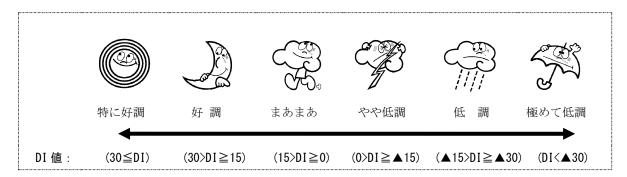




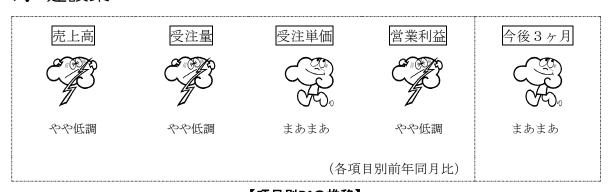
- ○平成26年12月~平成27年2月の見通しDI は、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.46ポイト増加して4.88%、「下降しそう」が3.88ポイント減少して8.94%となった。業種別の見通しDIは建設業(0)、製造業(0)、卸売業(▲6.3)、小売業(0)、飲食業(▲30.0)、サービス業(▲2.5)であった。
- ⇒「上昇しそう」では、「公共入札を3件ほど落札できたため」(建設業)、「忘年会、新年会に期待する」(飲食業)、「回収が見込めるプロジェクトが進捗中」(サービス業)、「販売促進、商品開発のため」(パン)、「選挙後、経済に活気が出ると予測する」(保険)、「年末年始は忙しい」(理容)といった声が寄せられた。
- ⇒「下降しそう」では、「引き合いが少ない」(建設業)、「土産品需要の落ち込み」(卸売業)、「一般消費者の財布の紐が固い」(飲食業)、「閑散期となるため」(そば、カレー)、「忘年会などの予約が少ない」(レストラン)、「神城断層地震の風評被害による観光客の減少が懸念される」(クリーニング、リネン業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <DI君の景況判断>



# 建設業

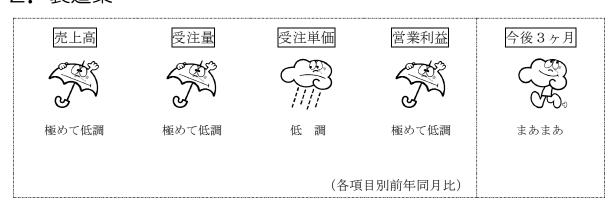


							【項目	∄別DI0	り推移)						
			25年11月	12月	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売	上	高	18.7	35.3	▲ 20.0	17.7	33.3	14.3	▲ 23.5	0.0	12.5	5.9	<b>1</b> 4.3	▲ 13.4	<b>▲</b> 6.7
受	注	量	31.3	23.6	<b>▲</b> 46.6	0.0	26.7	▲ 7.2	▲ 29.4	▲ 13.4	6.3	<b>▲</b> 11.7	▲ 21.5	▲ 33.4	<b>1</b> 3.3
受	注 単	価	<b>▲</b> 6.2	<b>▲</b> 11.7	▲ 20.0	<b>▲</b> 11.7	<b>1</b> 3.3	0.0	▲ 5.8	<b>▲</b> 6.6	<b>▲</b> 12.5	<b>▲</b> 11.7	<b>1</b> 4.3	▲ 26.6	0.0
営	業利	益	<b>▲</b> 6.3	<b>▲</b> 5.9	▲ 53.3	▲ 23.5	<b>▲</b> 6.7	▲ 21.4	▲ 5.9	▲ 13.4	<b>▲</b> 12.5	<b>▲</b> 17.6	<b>▲</b> 42.9	▲ 33.3	▲ 13.4
見	通	し	31.3	17.6	0.0	0.0	<b>▲</b> 6.7	<b>▲</b> 7.2	<b>▲</b> 11.8	0.0	▲ 18.8	<b>▲</b> 11.8	0.0	<b>▲</b> 6.6	0.0

#### < 経営者の目・見方・e t c >

管工事 ・例年だと3月末までの工事が入るはずだが、今年はまとまった工事がない。消 費税の関係もあり、新年度の予定が立たない。 建築工事 ・天候不順で納期等に影響が出そう。 ・例年に比べて、今年は特に仕事が少ない。年末にかけての仕事量も少ないた 電気工事 め、このままだと年末は借金に頼るしかない。 土木工事 ・個人や企業の投資として太陽光発電工事を建築工事会社が受注しているケー スが目立って多かった。申請だけして実際は来年工事となる。 ・地方の動きが鈍い中、首都圏の受注は伸びていて、加工が追いつかない状況 鉄工 である。

# 2. 製造業



【項目別DIの推移】

			25年11月	12月	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売	上	高	<b>▲</b> 9.6	▲ 13.1	12.5	▲ 35.0	0.0	<b>▲</b> 45.5	▲ 50.0	▲ 30.0	<b>1</b> 9.0	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3
受	注	量	<b>▲</b> 14.3	▲ 17.4	<b>▲</b> 4.1	▲ 30.0	▲ 5.0	<b>4</b> 0.9	<b>▲</b> 45.8	▲ 25.0	<b>▲</b> 19.1	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 23.5	<b>▲</b> 44.5
受	注 単	価	▲ 33.3	▲ 21.7	▲ 20.8	<b>4</b> 5.0	▲ 30.0	▲ 22.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 22.2
営	業利	益	▲ 19.1	▲ 13.0	▲ 8.3	▲ 20.0	▲ 10.0	<b>4</b> 0.9	<b>▲</b> 41.6	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0
見	通	し	<b>▲</b> 9.5	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 8.3	▲ 5.0	<b>▲</b> 9.5	▲ 23.8	▲ 10.5	<b>▲</b> 11.7	0.0

## <経営者の目・見方・e t c>

印刷

・選挙が終わった後の動向が不安である。

金属塗装

・9、10月は比較的良かったが、11月に入り、急に受注が減り、売上・利益とも 大幅に落ち込んだ。急激な円安により原材料・燃料等の価格が高止まりして いて採算を圧迫している。

小型情報機器組立

・円安のため、資材等の価格が上昇し、仕入れに困っている。

食品•飲料

・食料品の値上げを打ち出す企業が増えているが、小売価格は依然デフレ傾 向である。

# 3. 卸売業

【項目別DIの推移】

								1 ///	<u> </u>						
			25年11月	12月	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売	上	高	6.2	31.2	20.0	▲ 20.0	50.0	▲ 23.5	▲ 25.0	5.9	<b>▲</b> 12.5	▲ 5.9	0.0	<b>▲</b> 12.5	<b>▲</b> 43.8
販	売 客	数	▲ 18.8	6.3	▲ 13.3	▲ 33.3	12.5	▲ 5.8	▲ 25.0	<b>▲</b> 11.7	<b>▲</b> 12.5	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 12.5	<b>▲</b> 18.7
販:	売客単	鱼価	6.3	18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 6.2	<b>11.7</b>	<b>▲</b> 6.3	<b>▲</b> 17.6	▲ 25.0	<b>▲</b> 17.6	▲ 20.0	▲ 25.0	<b>▲</b> 12.5
営	業利	益	0.0	12.5	20.0	<b>4</b> 0.0	18.8	▲ 23.6	▲ 31.3	<b>▲</b> 11.7	<b>▲</b> 18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3
見	通	し	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 13.3	▲ 26.7	▲ 50.0	17.6	0.0	5.9	▲ 6.2	<b>▲</b> 11.8	0.0	0.0	▲ 6.3

#### <経営者の目・見方・e t c>

機械工具

・県外仕入先卸商社の売上推移を聞くと、既に8月頃から悪くなってきているということで、長野県は売上が悪くなるのが遅かったようだ。

金属製品

・職人不足により年度末まで仕事量は横ばいか。来年度の見通しに陰りが見え 始めた感がある。消費税率の引き上げが延期されたことによる影響も出てきて いる。

魚介類

・円安により、輸入品に影響が出ている。

青果

・野菜は全ての品目で前年より2~3割安、特にレタスを中心とした葉菜類が半値以下、漬物商材も前年安となった。一方、果実についても入荷減単価安の傾向。みかんは裏年に当たるか、弱含みな展開となった。

惣菜

・円安で年明けからさらに原価が上がりそう。

#### 4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
低調	低調	低 調	低 調	まあまあ
			目別前年同月比)	

								【項目	ョ別DIO	り雅移』						
				25年11月	12月	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
5	₹ .	Ŀ	高	<b>▲</b> 9.5	8.7	<b>▲</b> 4.8	▲ 23.8	26.1	<b>4</b> 0.9	▲ 38.1	<b>1</b> 24.0	▲ 29.2	▲ 7.7	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2
Į.	反売	客	数	▲ 28.6	<b>▲</b> 4.4	<b>1</b> 4.3	<b>4</b> 2.8	13.1	▲ 59.1	<b>▲</b> 42.8	<b>1</b> 24.0	▲ 25.0	▲ 15.4	<b>4</b> 4.5	<b>4</b> 2.4	▲ 25.0
ţ	販売:	客単	価	▲ 19.1	0.0	<b>4</b> 2.9	<b>▲</b> 19.1	0.0	▲ 18.2	<b>▲</b> 4.8	<b>4</b> .0	▲ 8.4	<b>▲</b> 11.5	▲ 33.3	<b>▲</b> 11.5	▲ 20.8
È	営業	利	益	<b>4</b> .8	▲ 8.7	▲ 23.9	▲ 28.6	4.4	<b>4</b> 0.9	<b>1</b> 9.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.4	<b>4</b> 0.7	▲ 27.0	▲ 29.2
5	₹	通	し	<b>4</b> .8	▲ 13.0	<b>▲</b> 9.5	<b>1</b> 9.0	▲ 73.9	<b>▲</b> 4.5	<b>1</b> 4.2	▲ 8.0	4.1	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 7.7	0.0

#### <経営者の目・見方・e t c>

F	П	音
⊢	IJ	平

・松本山雅FCのJ1昇格で街が活気づくのを期待する。

化粧品

・都心の百貨店などではインバウンド効果で大きな売上が出ているようだ。果 たして地方の小売店はどうなのだろうか。

#### 観光物産

・上高地閉山後の交通量及び来客数が減退。特に外国人の減少が大きい。

#### 住宅機器

・11月は商品が動いた。年内は忙しくなりそうだ。

陶磁器

・豪雪に始まり、土石流、火山噴火、地震と自然災害のフルコースを味わうことになった年だったが、急速な円安や消費税増税、年末にきての総選挙も零細企業にしてみれば災害のようなものだ。そんな中での松本山雅 FC の J 1昇格には救われる思いだ。

#### 書籍

- ・クリスマス商戦に突入しているが、財布の紐が固く、なかなか盛り上がらない。厳しい年末となりそうだ。
- ・近所の店などに聞いても昨年より悪いというところがほとんどで、特に飲食店 にその傾向が強いようだ。書店業界も全く元気がない。副業に新たな展開が あり、これから頑張りたいと思う。

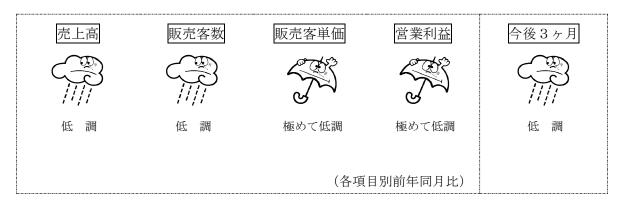
パン

・中旬までは安定した売上だったが、下旬より手応えがない日があった。円 安、株価、選挙など、足元が不安だと影響があるように感じる。

#### 生鮮食品

・下旬は雨の日があり、動かなかった。卸売が良くなかったが、終わってみれば小売は去年より良かった。しかし、ここ二年ほど悪い状況が続いていたので、比較対象にならない。

# 5. 飲食業



【項目別DIの推移】

						<del></del>	V 11- 12 4						
	25年11月	12月	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売 上 高	▲ 18.2	▲ 18.2	<b>4</b> 44.5	<b>▲</b> 91.7	<b>▲</b> 45.4	10.0	0.0	▲ 50.0	▲ 10.0	<b>4</b> 4.4	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0
販売客数	▲ 18.2	▲ 18.2	<b>4</b> 44.5	<b>▲</b> 91.7	<b>▲</b> 45.4	10.0	<b>▲</b> 16.6	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0
販売客単価	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 33.3	▲ 66.7	<b>▲</b> 45.5	0.0	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 22.2	<b>4</b> 0.0	▲ 30.0	▲ 50.0
営業利益	▲ 18.2	▲ 27.3	<b>4</b> 44.5	▲ 100.0	▲ 54.5	0.0	<b>▲</b> 16.6	▲ 50.0	▲ 20.0	<b>4</b> 4.4	▲ 60.0	▲ 30.0	<b>4</b> 0.0
見通し	. ▲ 9.1	▲ 18.2	22.2	16.6	▲ 18.2	30.0	<b>▲</b> 16.7	8.3	0.0	▲ 22.2	▲ 50.0	<b>4</b> 0.0	▲ 30.0

#### <経営者の目・見方・e t c>

・天気を心配したが、好天に恵まれ人出も多く、忙しかった。寒い日があったが、 比較的良い11月だった。

・11月の3連休2回は良い天候に恵まれて、人出も多く良かった。今年は消費税増税、夏の長雨、木曽の土石流、御嶽山の噴火、白馬での地震と散々の年で

あった。ただ、松本山雅の J1 昇格は明るいニュースであり、来年に期待したい。

・夜の予約が少ない。また、忘年会の予約も例年と比べて少なくなっている。

・紅葉シーズンは20日頃まで順調だった。消費者はお金の使い方を考えているようで、客単価は低下した。

・松本山雅FCのJ1昇格がもたらす経済効果は想像もつかないほど大きなものになるのではないか。寿し店に直接の効果がなくとも、地域の景気が良くなれば恩恵がありそうだ。

寿司

レストラン

郷土料理

そば

# 6. サービス業

売上高

司



販売客数

販売客単価



営業利益



今後3ヶ月



やや低調

やや低調

やや低調

低 調

やや低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】	
T 18 8 2011/1/13 39 32 1	

						<u> コカリレエリ</u>	リ作物						
	25年11月	12月	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売 上 i	高 ▲ 11.1	1 🔺 5.7	▲ 23.5	▲ 22.8	▲ 8.3	<b>▲</b> 11.7	▲ 2.5	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 10.2	0.0	3.1	▲ 5.0
販売客	数 ▲ 8.3	3 🔺 2.9	▲ 29.4	▲ 37.2	▲ 8.3	▲ 20.6	▲ 2.5	▲ 8.6	<b>▲</b> 11.4	▲ 7.7	0.0	▲ 21.2	<b>▲</b> 15.0
販売客単値	<b>a</b> 8.3	3 ▲ 14.3	<b>▲</b> 17.7	▲ 8.5	<b>▲</b> 5.6	<b>1</b> 4.7	▲ 5.0	▲ 8.6	▲ 2.8	▲ 5.1	▲ 5.4	<b>▲</b> 6.1	▲ 10.0
営業 利 :	益 ▲ 8.3	3 ▲ 11.4	▲ 26.5	▲ 34.3	<b>▲</b> 11.1	▲ 20.6	2.5	▲ 5.7	▲ 17.1	<b>▲</b> 17.9	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0
見 通	し 2.8	3 5.7	0.0	▲ 2.9	0.0	▲ 5.9	10.0	0.0	2.9	0.0	0.0	<b>▲</b> 6.1	▲ 2.5

#### <経営者の目・見方・e t c>

クリーニンク・リネン

・円安ではあるものの、原油及び関連資材、製品が値下がり始めている。

ソフトウエア

・インターネットを利用した多様なサイトとの連携や、モバイル端末を用いた業務改善 を図ろうとする動きをよく耳にするようになった。

タクシー

・上高地方面の営業は中旬で終了し、全車が市街地での営業となった。

ペットサービス

・例年11月は落ち込む月であるが、ホテル利用の増加もあって、前年を上回った。

ホテル

・災害、天候不順等により客足が減少した。

温泉旅館

- ・売上原価、一般管理費が増えたため利益は減った。木曽の災害や噴火、長野県神 城断層地震が影響していると感じる。
- ・今シーズンは県内で大きな災害がいくつもあった。近くに火山があり、地震も経験しているので、他人事とは思えない。また、報道機関や気象庁などによる過大報道による風評被害は誰にも補償を求めることができず、大きな問題だと思っている。

旅館

・噴火、地震等の影響で、上昇する要素がない。

機械設計

・円安で輸出企業は良いが、その企業に納めている中小企業は厳しい。まだコストダウンを要求される。使用する材料費が上がると、頼んでいる加工部品も値上がりする。その分をどこがもつのか。

警備保障

・業界内でも他業種のお客様でも、どこも人手不足が甚だしい。人員不足で業績が 徐々に悪化していくように思える。

自動車整備

・原油価格が少し下がったが、政府の景気対策は我々まで届いていないのが現状で ある。

獣医

・生体販売、病院への来院は低迷しているが、昨年より歯科、外科の患者があった。

倉庫

・ドライバー不足による輸送力の低下が顕著になってきた。

美容

・ホームカラーで染める人がまだまだ多いのが現状。サロンで染めて頂けるような提案 と工夫をもっとしていく必要がある。

理容

・12月に散髪希望のお客様が多いため、11月の売上は厳しい状況。12月は良くなって欲しい。